

入学試験概要

【併願可】 外国人留学生入学試験(1期・2期)

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、外国人留学生入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期・2期とも美術領域とデザイン領域の併願が可能です。(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2026年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2026年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2023年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU)【科目:日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書
⑥身分を証明する書類 ⑦日本語能力を証明する書類 ⑧経費支弁書 ⑨日本語学校等の卒業(見込)証明書等
⑩提出書類チェックリスト ⑪実技曲目記入用紙 ⑫作品提出記入用紙 ⑬音楽曲伴奏楽譜 ⑭事前提出作品

※⑨は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。

※⑪～⑭は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)			
	弦管打コース			
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)	
			・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)	
			・小論文(50分・200点)	
Ⅲ類			ダンスパフォーマンスコース	
	声優アクティングコース		専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)	
Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)	
			・小論文(50分・200点)	
	音楽ケアデザインコース		専門試験〔小論文〕(50分・200点)	
			専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
			・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)	
			・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)	
音楽総合コース	・小論文(50分・200点)			
	専門試験 以下より、いずれか1つを選択			
	・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)			
	・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)			
	・指定課題〔事前提出作品〕(200点)			
	・小論文(50分・200点)			

※詳細内容については、「[選抜方法詳細1\(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	小論文*(50分・200点)	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{※7}	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点) ^{※8}

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※7 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※8 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{※6}	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点) ^{※7}

- ※1 「ファンデーション」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。そのうち3点以上はデッサンの作品を試験当日に持参すること。
- ※2 「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。
- ※3 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※4 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※6 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※7 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [※] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [※] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。